

こんにちは！市民病院です！

問い合わせ 加東市民病院
☎42・5511

インフルエンザについて



加東市民病院
薬局 田中幸典

わたしは歴史小説が好きで、月に一冊くらい読んでいます。歴史小説には、時々、天然痘やはしかなど、伝染病の大流行を示唆する記述が出てきます。事実かどうかは分かりませんが、関白藤原道長は、兄弟やライバルの多くが伝染病で亡くなった。伝染病が徳川家の将軍選びに影響した。そんな内容です。

わが家においても、明治時代、元氣だった曾祖父が『きつい風邪』で、急に亡くなりました。曾祖父は30代。20歳になったばかりの妻と、幼い一人娘が残りました。葬儀は、多くの人が集まるので、できませんでした。地区内には、よく似た状況の家もあったと聞きます。

症状から、インフルエンザだと考えられます。

風邪は、昔から、人にうつることはよく知られていますが、どのようなようにうつるのかまでは解明されていませんでした。

現在確立されているインフルエンザの予防は、第一にワクチンの接種。次に、手洗い・うがい・マスクの使用などがあります。また、予防や治療のために、いくつかの薬もあります。

しかし、ワクチンを接種しても、手洗い、うがいなどの予防対策をしても、絶対大丈夫なわけではありません。

家庭内で、誰かがインフルエンザにかかったとします。食事やトイレの使用などもあるため、24時間だけ一人別室に、というのは無理でしょう。どうしても、家族にうつる場合があります。一人暮らしの場合では、体調不良でも、人

が集まる食品売り場に出かけることもあるでしょう。働いている方では、急ぎの仕事がある時、咳をしながら人と話をしたり、近くで書類を書いたりということもあるでしょう。

ともあれ、インフルエンザにかかったと感じた時は、受診してください。高熱に激しい咳、耐えがたい体のだるさ。辛抱して、がんばって。そんな人を見かけます。その気持ちは分かります。でも、インフルエンザの治療は、早いほど効果があります。

しんどい時に出かけて、長い時間待たされて、検査は鼻が痛いし、薬はにがしい。「やっとれんわー」とのお叱りも、もつともです。しかし、かかったな、と思ったら、ひどくなる前に、なるべく早く受診してください。

平成29年度 障害児タイムケア利用者を募集します

障害のある児童・生徒の下校後の活動場所の確保、社会に適應するための生活指導、保護者の就労支援を目的に『障害児タイムケア事業』を実施しています。

障害児タイムケア事業を利用いただける方は、次の①から③のすべてに該当する方です。

- ①加東市に住所があり、身体障害者手帳または療育手帳を所持している方
- ②中学校・高校・特別支援学校小学部～高等部に在学している方
- ③同居する18歳から65歳までの家族に、仕事や病気、家族の介護などの理由で見守ってもらうことができないため、放課後や夏休みに活動場所が必要な方

利用日時 月曜日から金曜日 下校後から18時まで
(祝祭日・年末年始を除く)

※夏休みなどの長期休業期間は 8時30分から18時まで

利用料金 月額6,000円(8月のみ15,000円)

実施場所 ラポートやしろ2階

申し込みに必要なもの

- ①利用申込書
- ②勤務証明書など家族が見守ることができないことを証明する書類
- ③障害者手帳の写し
- ④印鑑

申込方法 12月22日(木)までに必要書類を社会福祉課へ提出してください。

申込書類は社会福祉課にあるほか、市ホームページからもダウンロードできます。

※受付期間終了後、面接を行い、利用者を決定します。

問い合わせ 福祉部社会福祉課(庁舎1階) ☎43-0409